HID for SUZUKI AddressV125S (CF4MA)

product manual

スズキ アドレスV125S（CF4MA）専用HID 取扱説明書

警告

- 取付けの際は取扱説明書に沿って正しく取付けてください。取付け方法を間違えると火災・故障などの原因となります。
- 本製品は高電圧を発生させるシステムを使用しているため、取扱には充分ご注意ください。
  高電圧感電により、火傷や人命にかかわる重大な事故を引き起こす危険性があります。またスパークや
  絶縁不良、ショートにより本製品の故障や車輌火災の原因となりますので充分ご注意ください。
- 本製品は精密機器ですので、落としたり、配線を無理に引っ張ったりしないでください。故障の原因と
  なったり、高電圧感電により火傷や人命にかかわる重大な事故を引き起こす危険性があります。
- 取付けや点検を行う際は、濡れた手や、オイルの付いた手で行わないでください。
  また、点灯時にはバルブ、バラスト、コードには触らないでください。
  高電圧感電により、火傷や人命にかかわる重大な事故を引き起こす危険性があります。
- 本製品の分解・改造は絶対に行わないでください。
  車輌火災や事故の原因となります。また、分解・改造した製品の保証は受けられません。
- 取付け作業前および作業中に本製品に損傷を発見した場合は直ちに取付け作業を中止してください。
  高電圧感電により、火傷や人命にかかわる重大な事故を引き起こす危険性があります。

注意

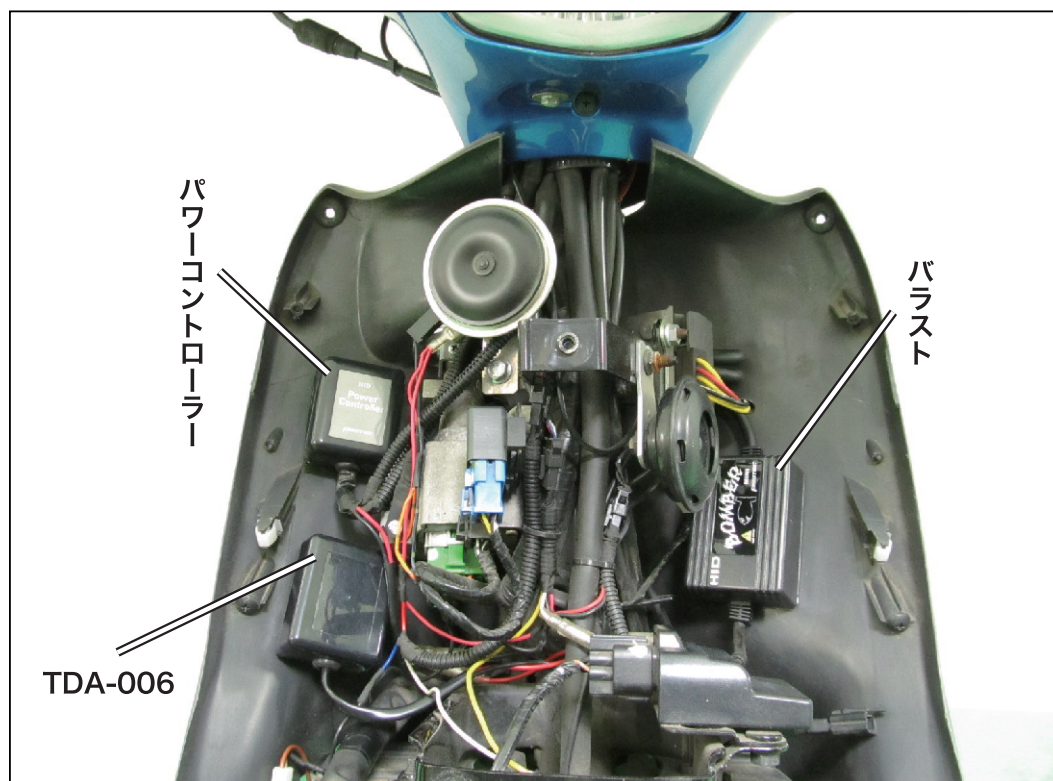
- 本製品はスズキ アドレスV125S（CF4MA）専用です。
  ※車種により車輌側配線色、ライトケースや配線方法が異なる場合があります。
- 本製品を取付けの際、確実に取付けされているかを確認してください。
  また本製品を取付けた後も、定期的に確実に取付けられているか確認を行ってください。
- 本製品を使用中、少しでも異常を感じた場合は、お買い求めの販売店または当社サービス課までお問い合わせください。
- 点灯中のバルブを直視しないでください。視覚障害の原因となります。
- ライト点灯時や消灯直後は、バルブに水を直接かけたり、手で触れないでください。バルブが非常に高温に
  なっており、火傷の原因となります。また、水をかけると急激な温度差によりガラス部分が割れる原因となります。
- バルブを落としたり、キズを付けたり、無理な力を加えないでください。
  バルブの破損、性能の低下、バルブの寿命を縮める原因となり、ケガの原因にもなります。
- 本製品の点灯/消灯は頻繁に行わないでください。バルブの寿命が短くなったり、不点灯など故障の原因となります。
- 紙や布、ガソリン、可燃スプレー、シンナー等燃えやすい物や引火する危険のあるものの近くでは点灯しないでください。
- 本製品の取付けによりディーラーなどの保証が受けられない場合があります。
- 本製品の使用により生じた故障・事故などの損害については、当社で一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 修理の際に生じる脱着工賃やその他諸費用につきましては、当社で一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

構成部品

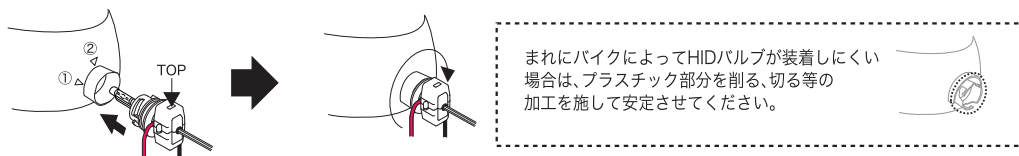
- ●HIDバルブ(11タイプ) × 1
- ●バラスト × 1
- ●パワーコントローラー × 1
- ●TDA-006 × 1
- ●バラスト用両面テープ × 1
- ●タイラップ(ロング) × 2
- ●タイラップ(ショート) × 4

仕様

●定格電圧　DC12V　　●定格出力　25W

取付け方法　※部品取付け位置(参考)

①バラスト、パワーコントローラー、TDA-006を両面テープで固定します。

※上の画像はアドレスV125G(K9)ですが、アドレスV125Sも同様に取付けできます。

まれにバイクによってHIDバルブが装着しにくい
場合は、プラスチック部分を削る、切る等の
加工を施して安定させてください。

HIDバルブのTOPの位置をヘッドライトの▽①に合わせて慎重に差し込み、
右に回しTOPの位置が▽②になるように確実に固定してください。

※ヘッドライトにHIDバルブが確実に固定されていないと、
　バルブの落下・光軸のずれ等の原因となります。
※取付け作業中、バルブに触れたり衝撃を与えたりしないでください。
　バルブに触れた場合はアルコール等で脱脂してください。

配線図

警告

本製品をお取付けになる場合は、必ずバッテリーのマイナス端子を外した状態で取付け作業を行ってください。
万が一、配線中に誤操作で動作してしまうと感電により、火傷や人命にかかわる重大な事故を引き起こす危険性があります。

取付けや点検を行う際は、ゴム手袋をつけて作業を行ってください。
高電圧感電により、ケガや人命にかかわる重大な事故を引き起こす危険性があります。

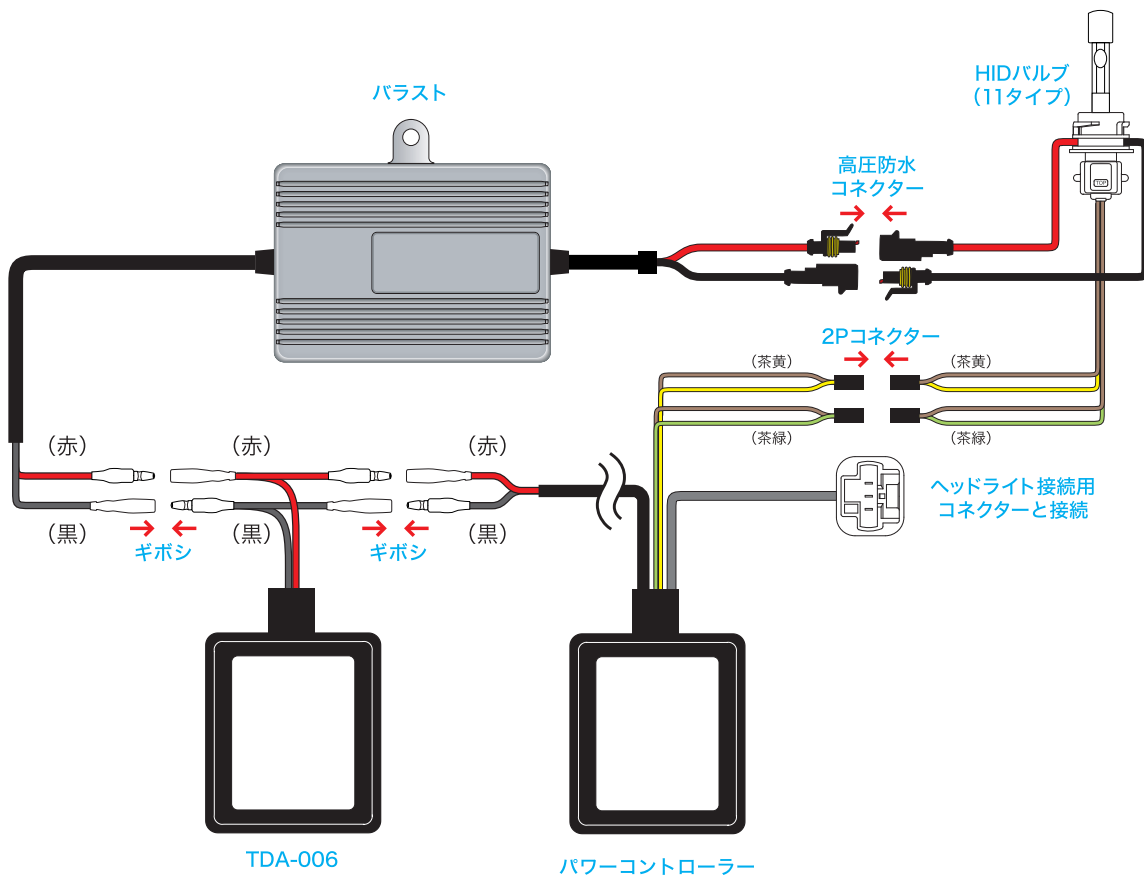
HIDバルブを接続しない状態で電源を入れないでください。
高電圧スパークが発生し、本製品が破損したり感電する恐れがあります。

注意

取付け作業にあたっては、広くて明るい平坦な場所で充分なスペースをとり、安全を確保して行ってください。

取付け・取外しの際は、本製品や車輌部品等にキズをつけないよう充分に注意してください。また取外した部品類は紛失しないよう充分に注意してください。

取付け作業中に、本製品の破損が発生した場合の保証は、一切の責任を負いかねます。

※コネクターやターミナル端子は確実に接続してください。接続不良は異常発熱、発火の原因となります。

バラストとバルブの間の高圧防水コネクターは以下を厳守してください。

・コネクターボディ部を持って、慎重に確実に接続してください。
　※コネクターの接続が不完全だとアーク放電が発生し、発熱から発煙・発火の原因になります。
　※コネクターの接続が不完全な状態であっても、アーク放電によって点灯する場合があります。
　　その場合も、発熱から発煙・発火の原因になります。
・ケーブルを持ってコネクターを押し込んだり、強く引っ張ったり、折り曲げたりしないでください。

故障かな？と思われる前に…

症状　点灯しない。
確認事項　バッテリーコードのヒューズが切れていませんか？
また、コネクター･ギボシは確実に接続されていますか？

症状　高圧防水コネクター付近で異音がする。
確認事項　高圧防水コネクターの接触不良や絶縁不良です。確実に接続し直してください。

症状　点灯後、徐々に発光色が変化する。
確認事項　HIDバルブはシステムの特性により、点灯直後に徐々に色が変化します。
この変化は30秒〜1分程度で安定します。

症状　エンジン始動時にHIDバルブがチラついたり、消灯する。
確認事項　エンジンがかかっていない状態でバルブを点灯させ、そこからエンジンを始動させると、
チラツキやバルブが消灯することがあります。これはセルモーターを動かす事により
急激な電圧の低下によるもので故障ではありません。※バッテリーが弱っている時。
消灯した場合は一度キーを“OFF”にして10秒以上待ってから、再度“ON”にしてください。

症状　バラストから異音がする。
確認事項　バラストの電圧を制御する為の音が出る場合がありますが、
本製品の異常･故障等ではありません。

症状　バルブの明るさが以前より暗い。
確認事項　長期間使用していると、目が慣れ以前よりも暗く感じる場合があります。
その場合交換されたハロゲンバルブに戻し、明るさを比べてみてください。

その他、ご不明な点は、販売店または当社サービス課(044-870-7155)へご連絡ください。